

市議会議員

おのざわ康弘の

会派活動報告

ひげ通信



2017

49~52

発行日 17-04(やまぶき会 小野澤康弘)

おのざわ康弘ホームページ
Tel.049(232)5789 Tel.049(231)4850 <http://onozawayasuhiro.com/>

平成29年3月議会(平成28年6月、9月、12月議会)

平成29年2月27日より3月定例市議会が開催され、市長提出議案40議案が原案可決とされ他請願1件は不採択、又4特別委員会については、東京オリピック対策及び川越駅周辺対策については引き続き継続審査となり、私が委員長を務める人口問題と社会現象に関する特別委員会並びにいじめ問題対策委員会については2年間の調査を報告し本会議にて両特別委員会は調査終了となり3月24日議会閉会となりました。(詳細は2P)

今回の3月議会は川合市長にとって1月の選挙により3期目を当選された川合善明現職市長の今後4年間のスタートとなる平成29年度市政方針や新年度の予算の審査を行うとても大事な議会となりました。我が会派やまぶき会といたしましても現職川合市政に対しては2期8年間の実績を評価し現職支持の体制で平成29年1月執行の市長選挙へのぞみ川合市長3期目の初議会へのぞみしました事をまずご報告申し上げます。

さて、私の「ひげ通信」ですが平成28年6月議会・9月議会・12月議会について皆様にご報告できなかった事についてお詫び申し上げます。言訳となりますが昨年につきまは私も川越市と議会関係の公務におわれ詳細なご報告につ

いて、なかなかペンを取る時間もとれず今回の「ひげ通信」の中で、平成28年6月・9月・12月の一般質問関係については要旨について掲載させていただきましたので、ご確認いただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



＜平成29年度市政方針及び教育行政方針派代表質疑＞

平成29年度市政方針並びに教育行政方針についてやぶき会を代表して私が代表質疑を行いました。又議会最終日には平成29年度一般会計予算についてはやまぶき会といたしまして平成29年度予算案に対して賛成の立場から会派代表として本会場にて賛成討論を行いました。賛成理由といたしましては、平成29年度一般会計予算は川合市長3期目に当たっての最初の予算であるだけでなく、東京オリピック・パラリンピックの開催や市制施行100周年に向けた布石となる重要な位置付けを持つ市

政方針に向けた予算であること、又4年間連続となる1,100億円を超える予算規模もさることながら、課題の解決に向けた予算配分だけでなく市民要望にも目を配り、さらには将来の本市の発展を視野に入れた積極的な予算を組まれたこと。予算編成についても①子供を安心して産み、育てることが出来るまちづくり
②魅力を高め活力を生み出すまちづくり
③人と人がつながり、安心して暮らせるまちづくり
④地方創生、オリンピックに向けた取組

以上4つの重点施策の実現に向けた事業や市民からの整備要望が多い生活道路も前年度よりも1億円以上増額などの対応にも配慮していること、又会派からの要望事項に対しても予算計上をされた事など、又一方で限られた財源の下でさまざまな事業を進めていく為には市債(市の借入れ)の活用も欠かせないことは十分認識はしているが、平成29年度の市債残高が1031億円に達すると見込まれることも十分留意をしていただきたことと討論の中で伝え、川合市長には健全な行財政運営を行っていただきたため、市長の強力なリーダーシップのもとで行財政改革にも取り組んでいただくよう強くお願いをいたしましたことと賛成とさせていただきます。

主な議決案件

3月定例議会の主な議案

(2月27日～3月24日)
条例の一部改正について 11件
(反対討論) (原案可決)

包括外部監査契約について 1件
(原案可決)

工事に関する協定の変更について 1件 (原案可決)

土地改良事業の計画の概要について 1件 (原案可決)

道路線の認定・廃止について 4件 (原案可決)

平成28年度補正予算 (異議有り) (原案可決) 5件

平成29年度当初予算 (賛成討論・反対討論) (原案可決) 10件

同意案件 7件
(一部異議有り退場) (原案同意)

請願 1件 (不採択)

人口問題と社会現象に関する特別委員会調査報告 (抜粋)

市議会では平成27年6月に人口問題と社会現象に関する特別委員会を設置(委員10名 委員長 小野澤康弘)し、本市における高齢化対策及び少子化対策について、本市の将来人口推計・高齢化・少子化の状況、雇用施策、総合計画、立地適正化計画、市民センター構想等について高齢化対策・少子化対策の観点から本市の現状について調査に入りました。調査を進めるにあたり

高齢化対策については高齢者の健康長寿を中心に、少子化対策については子育て支援を中心に2年間にわたり16回の委員会等を開催し委員の皆様と調査・協議・審査を行い委員会としての意見を集約した結果、特に重点的に市で取り組む必要がある項目を人口問題と社会現象に関する委員会としての意見として、平成28年12月20日川合善明市長へ提出させていただきました。人口問題と社会現象に関する意見の提出について

1. 高齢化対策について
 - ・いきいきサロン等の高齢者の居場所づくりの推進を図ること
 - ・高齢者の移動手段の確保を図ること
 - ・健康診断の受診率の向上を図ること
 - ・市民の健康に対する意識を高める取り組みを図ること
 - ・世代間交流の促進を図ること
 - ・健康推進のため、各種体操の普及・推進を図ること
2. 少子化対策について
 - ・保育所、公園、児童館の整備の促進を図ること
 - ・多子世帯への軽減制度や養育費に対する補助制度などの創設を図ること
 - ・送迎保育ステーションの設置を図ること
 - ・休日保育の充実を図ること
 - ・結婚・出産・育児と続く切れ目のないサポート体制の充実を図ること
 - ・つどいの広場を含めた市の子育て施設の質の均一化を図ること

- ・ホームスタート事業への支援を図ること
- ・多世代住宅への補助制度の拡充と創設を図ること
- ・子育て世代の母親を中心とした考え方に配慮した対応を図ること
- ・産官学の連携や職住近接等による定住促進を図ること
- ・子育てしやすい環境整備を促進し、「子育てするなら川越市」等のPRによる定住促進を図ること



平成28年12月20日 人口問題と社会現象に関する特別委員会 市長に意見提出

私は今回この特別委員会委員長として副委員長他8名の委員さんのご協力のもと2年間委員会として自ら調査項目を絞り課題を委員の方々や理事者側(関係各課職員)とのやりとりで意見

として集約ができ平成29年度予算にも一部反映できたことに委員会として一定の成果がみられたことについて大変感謝しております。又今回の特別委員会では市内の民間団体(川越商工会議所様及びNPO法人川越子育てネットワーク様)との意見聴取については委員会にて委員長提案として市役所庁内での会議で意見を聴取するのではなく、各団体の活動されている現地へ議会から出向き委員会を開催したいという提案について委員の皆様から快く賛成をいただき、川越市議会の委員会会議が庁内を出て民間団体で委員会開催が行えたことは、川越市議会として史上初めての委員会運営ができたことに、深く委員の皆様へ感謝するとともに協力いただいた川越商工会議所様・NPO法人川越子育てネットワーク様・又川越市保健推進員協議会の皆様を含め心より深く感謝いたします。私は議会としても庁外での委員会は初めてのケースでしたが調査の中で皆様と話し合い意見を伺うことは大変貴重であり市の政策をチェックしていく過程のうえで大変有意義と思えます。今後の市議会の運営にも期待するところであります。

市政方針への代表質疑から

私が特に評価するもの

Q 子育て安心施設についての質疑

A 市長 中原町2丁目地内へ複合施設として整備

・子どもを保育園に送迎する保育ステ

ーシヨ

・子育ての不安・孤立感を解消する為の相談、健康教育、健康相談の場
 ・高齢者の皆様の保健・医療・福祉・介護を支える地域包括支援センター
 Q 小学校のエアコン設置は平成30年度に完了(29年度15校・30年度14校)の予定だが私はできれば1年で実施するという政治的判断があつても良かったのではないか、市長は中学校の普通教室については今後どのように考えるのか?
 A できるだけ早期に、できれば平成30年度中全中学校へのエアコン導入を図る。

Q 初雁公園をどのように整備し新たなシンボルとして未来へ残したいのか?
 A 野球場や市民ブルの在り方なども含めて初雁公園整備基本構想の見直しを着実に進め市政100周年を目途に市のシンボルにしたい。

私の議会質問

○平成28年6月議会一般質問要旨
 ①市内循環バス川越シャトルの充実について

・川越市シャトル路線がない地域や路線設定の条件を満たさない地域の交通について、今後市はどうしていくのか?
 ・川越シャトルバス以外に高齢者などを対象にした足の確保についてどの

ような交通をいつ頃までに実施したいと考えているのか?
 *シャトル路線設定条件

・民間路線バスと重複しないこと
 ・道路の幅員が6m以上であること
 ・路線の長さが10km程度
 ・路線の運行時間が30分程度

②和の文化を活用した観光施策について
 ・第2次観光振興計画の施策35に「日本文化を生かしたおもてなしの充実」とあるが、この項目を入れた理由とは?
 ・「川越きもの日」の経緯と活動状況

・着物の観光客を増やすために特定の日(8日)だけでなく、他の日も着物の観光客を増やせるような取組についてどうとらえているか
 ・市として「川越きもの日」を推奨していく考えはあるか?

○平成28年9月議会本会議質疑要旨
 ①川越市旧西清掃センター解体工事請負契約について
 Q 汚染物質や土壌の事前調査測定の結果について

A 土壌の状況、土壌汚染対策法に係る重金属類他、ダイオキシン類、基準1000ピコグラムに対して、基準以下の170ピコグラム
 Q 土壌改良などはどのようにするのか
 A 土壌については土壌汚染法に基づく調査により、調査項目の全ての基準値を満たしているので土壌対策の必要はないが、主に重油タンク周辺の

土に重油が含まれていることから、濃度の高い1500m³の土は場外に搬出し、濃度の低い6000m³については工事現場で土壌の改良を行う。解体後の跡地の利用についてどのように考えているのか?
 A 跡地利用については、廃棄物処理施設などの整備にこだわることなく跡地利用の計画を進めていく中で政策部局も含めて全庁的に検討していく。

他の質問

Q 汚染物質の飛散防止対策
 Q 建屋や煙突などのダイオキシン類の除染方法は?
 Q 除染に使用する洗浄水の処理はどのように対処するのか?
 Q 工事中の汚染物質の飛散に対する確認調査は

Q 解体工事による粉じん飛散防止対策※工期・現地調査、仮設工事―3ヶ月
 ダイオキシン類除染工事―7ヶ月
 設備機器類、建屋、煙突、基礎、地下構造物解体―21ヶ月
 おおむね30ヶ月

○平成28年9月議会一般質問要旨
 ①台風9号(8月22日)の対応について

・市が発令する非難情報の発令基準について
 ・市民(住民)に対する水害時の避難行動をどのように事前周知しているのか?
 ・小畔川の水位の変化、これまで小畔川増水による避難勧告を発令したこ

とがあるか?
 ・避難勧告発令はどのような体制において決定されたのか?
 ・避難勧告発令時、なぜ広報車を巡回させなかったのか?
 ・小畔川の避難判断、水位等の変更時期とその情報を市民が知っていたか?

・避難勧告発令時、市の体制が川越市タイムラインと異なっていたのはなぜか?
 (市の問題点)
 ・小畔川の避難判断水位等が変わっているのに、その情報が市民に伝わっていなかった。
 ・避難勧告発令時は(非常体制第一配備)であるが、川越市洪水対応タイムラインの体制とは異なり、「警戒態勢第一配備」と2段階低い体制で避難勧告の発令を行ってしまった。

②入間川以西地域の道路及び橋梁整備について
 ・田島橋の拡幅と市道0074号線の道路拡張(西部地区)
 ・道目木橋及び市道8051号線の歩道整備について(協栄、上野地区)
 ・大町橋の今後の整備
 (大町、芳地戸地区)

・高橋(たかばし)の今後の整備
 (霞ヶ関北、吉田)

○平成28年12月議会一般質問要旨
 ①川越市伝統建造物群保存地区とこれから

平成11年12月1日に国の重要伝統



山畑家長屋門（笠幡）

※入間川以西地区に新たな景観重要建造物の指定（平成28年9月8日指定）

的建造物群保存地区に選定された川越市川越伝統的建造物群保存地区のこれまでの取組みや成果を確認するとともに、平成31年の選定20周年を契機に将来を見据えた地区制度の充実のための検討や取組みの推進について伺う

・人口減少や社会状況が変化してきている実情に応じた制度の見直しの必要性について

②都市計画道路、市内循環線の整備について

・氷川神社から県立川越高等学校に向かう区間に関する取組み状況と課題はどのようなものがあるか？

・氷川神社から県立川越高等学校に向かう区間の今後の整備予定と事業範囲についてどう考えるか？

※氷川神社から川越市役所南側の道路1号線を通り抜け、県立川越高等学校までの区間は一括で道路工事事業認定を受けるべきと思います。

旨であります。この道路の連雀町交差点から更に一番街へ続く仲町交差点の連続した都市計画道路中央通り線については、現状幅員が11mあり仲町交差点を更に北へ進むと観光でも有名な蔵の街並みがあり道路幅員としても同じ11mの道路が続きますが、仲町交差点から札の辻までの区間は過去に県との協議により本来、道路幅員12mである都市計画道路の幅員を縮小変更し現在の11mで推移している経緯があります。今回の連雀町交差点から仲町交差点の区間については都市計画道路の見直しによる道路幅員の縮小変更（現状の道路幅のまま）により中央通りを活性化させる活動をされている地元商店街や、私も議員になったころから提案し続けたまちづくり条例が制定され、平成26年4月から施行された事から川越市内でも初めての地区街づくり推進条例に基づく認定登録協議会「中央通り昭和の街の会」の活動を含め、川越市や埼玉県の見解や見直し変更に対する見直しなどの確認を行い今後の連雀寺界隈の活性化を市はどのように考えているのかを問うものであります。

行政の情報は市民の共有財産である

平成29年3月議会一般質問
「中央通り連雀寺界隈の活性化について」 質問要旨

本川越駅交差点から中央通り北側を見ると道路拡幅整備もだいぶ進み見上げると広々とした空間が目につくようになってきました。この道路整備とは本川越駅交差点から連雀町交差点までの約315m道路幅員20m（歩道左右各5m、自転車通行帯左右各1.5m、車道左右3.5m、現段階での計画）を整備中の都市計画道路中央通り線という県の整備事業であります。今回私が一般質問として取り上げた主



鈴木家長屋門（上戸）

※入間川以西地区に新たな景観重要建造物の指定（平成28年9月8日指定）

私の議会質問

1 都市計画道路中央通り線、本川越、連雀町交差点区間の整備状況と今後のスケジュール

2 連雀町交差点の整備と進捗状況

3 都市計画道路北環状線の整備スケジュール

4 ユールと整備後の中央道り本川越、仲町交差点の将来交通量予測

5 川越市中心市街地活性化基本計画における連雀寺界隈のまちづくりの位置づけ

6 「中央通り昭和の街の会」の活動はどのようなものか？

7 都市計画道路中通り線、連雀町、仲町交差点区画の今後の整備について市と県との検討状況

8 中央通り連雀寺界隈の活性化への課題とは？

9 連雀町、仲町交差点区間の今後の交通課題を市はどのように捉えているか？

10 連雀町、仲町交差点区間の整備に向けた市の今後の取組みについて

11 中心市街地活性化の観点から中央通り連雀寺界隈の活性化に向けて市はどのような支援を行っていくのか？



質問要旨

平成26年4月から施行された事から川越市内でも初めての地区街づくり推進条例に基づく認定登録協議会「中央通り昭和の街の会」の活動を含め、川越市や埼玉県の見解や見直し変更に対する見直しなどの確認を行い今後の連雀寺界隈の活性化を市はどのように考えているのかを問うものであります。